

東京都知事 殿

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金 交付申請書

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金交付要綱第8条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

1 申請者（申請児童生徒の保護者※申請はフリースクール等の利用料を負担している方が行ってください。）

(フリガナ)				申請児童生徒	
氏 名				との続柄	
住 所 ※1	〒		－		
	東京都				
連絡先	電話		メール		
	番号		アドレス		

※1 申請児童生徒と住所が異なる場合は、別記様式（第1－2号様式）に必要事項を記載の上、提出してください。

2 申請児童生徒

(フリガナ)								
児童生徒氏名								
在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立) ☐ 私立						
	名 称							
	学 年	第		学 年				
(申請年度内の在籍校 変更がある場合のみ記 載してください。) 前在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立) ☐ 私立						
	名 称							
	学 年	第		学 年				
	在籍期間	令和	年	月	日	～ 令和	年	月

3 通所予定である（している）フリースクール等

「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に係る確認書（フリースクール等用）（第2号様式）」項番2（申請児童生徒の利用状況について）に記載の内容と相違がないか確認してください。

施設名称							
所在地							
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。		
	☐ 月額制以外	月		円			
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。						
	・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。						
助成対象期間（B）		か月	（令和	年	月 ～ 令和	年	月）
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。							

本助成金は、複数のフリースクール等の利用料を合算して、助成の対象とすることができます。複数のフリースクール等に通所している場合に以下は記載してください。

ただし、1月当たりの申請額が2万円を超える場合には申請は不要です。

フリースクール等②							
施設名称							
所在地							
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。		
	☐ 月額制以外	月		円			
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。						
	・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。						
助成対象期間（B）		か月	（令和	年	月 ～ 令和	年	月）
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。							

フリースクール等③							
施設名称							
所在地							
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。		
	☐ 月額制以外	月		円			
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。						
	・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。						
助成対象期間（B）		か月	（令和	年	月 ～ 令和	年	月）
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。							

4 控除額（申請日時点において、本事業以外に利用料に係る助成金等を受けている場合のみ記載）

1月当たり 控除額(C)※3		円	助成金等を受けてい る団体等名	
-------------------	--	---	--------------------	--

※3 額の計算は、助成対象期間と重複する期間に受ける助成金等の1月当たりの平均額を記載してください。
ただし、1円未満の端数が生じた場合は切り上げとしてください。

5 交付申請額※複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

1月当たり申請額 (D) ※4 (1月当たり上限額) (A:月額利用料)－(C:1月あたり控除額)		円	交付申請額 (D:1月あたり申請額)×(B:助成対象期間)		円
---	--	---	--------------------------------------	--	---

※4 100円未満の端数は切り捨てとしてください。また、20,000円を超過している場合は20,000円としてください。

6 同意事項

☐ 項番1に記載の申請者は項番2に記載の申請児童生徒がフリースクール等に通所するための利用料を負担していることに相違ありません。

☐ 項番3に記載の助成対象期間において都内に住所を有していることに相違ありません。

☐ 今回交付申請しているフリースクール等の利用料について、項番4に記載した控除額以外に、助成金等を受けていません。

☐ 在籍校※5に対して、東京都が申請者及び申請児童生徒に係る申請、助成金の交付に係る情報を提供する
場合があることを承諾します。

☐ 交付申請に係る審査及び交付決定後の助成金支給に係る審査を目的として、東京都又は東京都が審査
事務を委託する者が、必要に応じて在籍校※5及びフリースクール等への照会を行うことを承諾しま
す。

☐ 申請児童生徒のフリースクール等への通所状況や活動の様子等について、助成金交付要綱第13条第2
項で定める期間※6ごとに、東京都フリースクール等利用者支援事業助成金フリースクール等への通所
状況等報告書（第11号様式）を在籍校に提出するとともに、その内容について、在籍校がフリース
クール等に確認する場合があることを承諾します。

※5 公立学校に在籍している場合は、管轄の教育委員会を含みます。

※6 以下の期間ごとに在籍校に報告書の提出をお願いします。それぞれの提出期日は別に定めます。

①第1四半期：4月1日から6月30日まで

②第2四半期：7月1日から9月30日まで

③第3四半期：10月1日から12月31日まで

④第4四半期：翌年1月1日から3月31日まで

(第1 - 1号様式別紙計算書)

令和 年 月 日

申請者 氏名

フリースクール等その1

フリースクール等名		
月額利用料 (A) (税込)	円	助成対象期間 月 (令和 年 月 ~ 令和 年 月)
合計額 (A) × (B)	円	・・・①

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

フリースクール等その2

フリースクール等名		
月額利用料 (A) (税込)	円	助成対象期間 月 (令和 年 月 ~ 令和 年 月)
合計額 (A) × (B)	円	・・・②

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

フリースクール等その3

フリースクール等名		
月額利用料 (A) (税込)	円	助成対象期間 月 (令和 年 月 ~ 令和 年 月)
合計額 (A) × (B)	円	・・・③

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

1月当たり上限額 (月ごと) ・・・④

令和 7年 4月	円	令和 7年 5月	円	令和 7年 6月	円
令和 7年 7月	円	令和 7年 8月	円	令和 7年 9月	円
令和 7年 10月	円	令和 7年 11月	円	令和 7年 12月	円
令和 8年 1月	円	令和 8年 2月	円	令和 8年 3月	円

※フリースクール等その1～その3の月額利用料の合計額を記載してください。20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

交付申請額 (総額)	円
④の合計額	

(第 1 - 2 号様式)

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金
交付申請書 別記様式

該当がある事項のみ記入し、交付申請書（第 1 - 1 号様式）と共に提出してください。

項番 1 関連 （在籍校と日常的に連絡を取ることができる者が申請者と異なる場合）

児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	(フリガナ)				
	氏名				
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等		
	連絡先 (電話番号) ※				
	連絡先 (メールアドレス)				

※原則として、申請者とは別の電話番号（携帯電話番号等）を記入してください。

項番 2 関連 （申請者と申請児童生徒の住所が異なる場合）

(フリガナ)				
児童生徒氏名				
児童生徒住所 (申請者と同居していない場合)	〒		-	
申請者と同居していな い理由				
児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	☐ 有 ☐ 無 (理由)			
	※『有』にチェックを入れた場合は、下記事項を記載してください。			
	(フリガナ)			
	氏名			
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等	
	連絡先(電話番号)			
連絡先(メールアドレス)				

(第1-1号様式)

記入例 (月額制)

令和 7 年 〇月 〇日

東京都知事 殿

送付日を記入してください。

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金 交付申請書

東京都フリースクール等利用者支援事業
下記のとおり申請します。

申請者は、利用料を支払っている方（領収書の宛先となる方）となります。在籍校と日常的に連絡を取る方が申請者と異なる場合は別記様式（第1-2号様式も作成してください。）

1 申請者（申請児童生徒の保護者※申請はフリースクール等の利用料を負担している方が行ってください。）

(フリガナ)	トウキョウ タロウ		申請児童生徒	父
氏 名	東京 太郎		との続柄	
住 所 ※1	〒 163 - 8001 東京都 新宿区西新宿 2 - 8 - 1 ○○マンション101			
連絡先	電話 番号	03-5321-xxxx	メール アドレス	abcdedf@aaabbbcccc.jp

マンション・アパート名、部屋番号まで確実に記載してください。

※1 申請児童生徒と住所が異なる場合は、別記様式（第1-2号様式）に必要な事項を記載の上、提出してください。

2 申請児童生徒

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
在籍校	区 分	☒ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称	○○大学附属○○小学校		
	学 年	第 3 学 年		
(申請年度内の在籍校 変更がある場合のみ記 載してください。) 前在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称			
	学 年	第 学 年		
	在籍期間	令和 年 月	確認書（フリースクール等用）（第3号様式）の内容と合っているか必ず確認してください。	

3 通所予定である（している）フリースクール等

「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に係る確認書（フリースクール等用）（第2号様式）」項番2（申請児童生徒の利用状況について）に記載の内容と相違がないか確認してください。

施設名称	とうきょうフリースクール				
所在地	東京都新宿区西新宿 2－8－1				
月額利用料(A) (税込)	☒ 月額制※2	月	33,000	円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
交付申請期間（B）	11	か月	（令和 7 年 5 月 ～ 令和 8 年 3 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

本助成金は、複数のフリースクール等の利用料を合算して、助成の対象とすることができます。複数のフリースクール等に通所している場合に以下は記載してください。
ただし、1月当たりの申請額が2万円を超える場合には申請は不要です。

フリースクール等②					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					
フリースクール等③					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

4 控除額（申請日時点において、本事業以外に利用料に係る助成金等を受けている場合のみ記載）

1月当たり 控除額(C)※3	10,000	円	助成金等を受けてい る団体等名	一般財団法人 ○○○○
-------------------	--------	---	--------------------	-------------

※3 額の計算は、助成対象期間と重複する期間に受ける助成金等の1月当たりの平均額を記載してください。
ただし、1円未満の端数が生じた場合は切り上げとしてください。

5 交付申請額※複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

1月当たり申請額 (D) ※4 (1月当たり上限額) (A:月額利用料) - (C:1月あたり控除額)	20,000	円	交付申請額 (D:1月あたり申請額) × (B:助成対象期間)	220,000	円
---	--------	---	--	---------	---

※4 100円未満の端数は切り捨てとしてください。また、20,000円を超過している場合は20,000円として。

チェック漏れが無いようご注意ください。

計算誤りがないかご注意ください。

6 同意事項

- ☒ 項番1に記載の申請者は項番2に記載の申請児童生徒がフリースクール等に通所するための利用料を負担していることに相違ありません。
- ☒ 項番3に記載の助成対象期間において都内に住所を有していることに相違ありません。
- ☒ 今回交付申請しているフリースクール等の利用料について、項番4に記載した控除額以外に、助成金等を受けていません。
- ☒ 在籍校※5に対して、東京都が申請者及び申請児童生徒に係る申請、助成金の交付に係る情報を提供することがあることを承諾します。
- ☒ 交付申請に係る審査及び交付決定後の助成金支給に係る審査を目的として、東京都又は東京都が審査事務を委託する者が、必要に応じて在籍校※5及びフリースクール等への照会を行うことを承諾します。
- ☒ 申請児童生徒のフリースクール等への通所状況や活動の様子等について、助成金交付要綱第13条第2項で定める期間※6ごとに、東京都フリースクール等利用者支援事業助成金フリースクール等への通所状況等報告書（第11号様式）を在籍校に提出するとともに、その内容について、在籍校がフリースクール等に確認する場合がありますことを承諾します。

※5 公立学校に在籍している場合は、管轄の教育委員会を含みます。

※6 以下の期間ごとに在籍校に報告書の提出をお願いします。それぞれの提出期日は別に定めます。

- ①第1四半期：4月1日から6月30日まで ②第2四半期：7月1日から9月30日まで
③第3四半期：10月1日から12月31日まで ④第4四半期：翌年1月1日から3月31日まで

(第1-1号様式)

記入例 (月額制以外)

令和 7 年 〇 月 〇 日

東京都知事 殿

送付日を記入してください。

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金 交付申請書

東京都フリースクール等利用者支援事業
下記のとおり申請します。

申請者は、利用料を支払っている方（領収書の宛先となる方）となります。在籍校と日常的に連絡を取る方が申請者と異なる場合は別記様式（第1-2号様式も作成してください。）

1 申請者（申請児童生徒の保護者※申請はフリースクール等の利用料を負担している方が行ってください。）

(フリガナ)	トウキョウ タロウ		申請児童生徒	父
氏 名	東京 太郎		との続柄	
住 所 ※1	〒 163 - 8001 東京都 新宿区西新宿 2 - 8 - 1 ○○マンション101			
連絡先	電話 番号	03-5321-xxxx	メール アドレス	abcdedf@aaabbbcccc.jp

マンション・アパート名、部屋番号まで確実に記載してください。

※1 申請児童生徒と住所が異なる場合は、別記様式（第1-2号様式）に必要な事項を記載の上、提出してください。

2 申請児童生徒

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
在籍校	区 分	☒ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称	○○大学附属○○小学校		
	学 年	第 3 学 年		
(申請年度内の在籍校 変更がある場合のみ記 載してください。) 前在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称			
	学 年	第 学 年		
	在籍期間	令和 年 月	確認書（フリースクール等用）（第3号様式）の内容と合っているか必ず確認してください。	

3 通所予定である（している）フリースクール等

「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に係る確認書（フリースクール等用）（第2号様式）」項番2（申請児童生徒の利用状況について）に記載の内容と相違がないか確認してください。

施設名称	とうきょうフリースクール				
所在地	東京都新宿区西新宿2-8-1				
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☒ 月額制以外	月平均	33,550	円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額は切り捨てとしてください。 利用予定メニュー：①学習サポート：3,850円/回、②ソーシャルスキルトレーニング：5,500円/回 1月当たり利用予定回数：①3回、②4回 月平均額：①（3,850円×3回）+②（5,500円×4回）=33,550円				
交付申請期間（B）	11	か月	（令和 7 年 5 月 ～ 令和 8 年 3 月）		

※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。

本助成金は、複数のフリースクール等の利用料を合算して、助成の対象とすることができます。複数のフリースクール等に通所している場合に以下は記載してください。

ただし、1月当たりの申請額が2万円を超える場合には申請は不要です。

フリースクール等②					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		

※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。

フリースクール等③					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		

※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。

4 控除額（申請日時点において、本事業以外に利用料に係る助成金等を受けている場合のみ記載）

1月当たり 控除額(C)※3	10,000	円	助成金等を受けてい る団体等名	一般財団法人 ○○○○
-------------------	--------	---	--------------------	-------------

※3 額の計算は、助成対象期間と重複する期間に受ける助成金等の1月当たりの平均額を記載してください。
ただし、1円未満の端数が生じた場合は切り上げとしてください。

5 交付申請額※複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

1月当たり申請額 (D) ※4 (1月当たり上限額) (A:月額利用料) - (C:1月あたり控除額)	20,000	円	交付申請額 (D:1月あたり申請額) × (B:助成対象期間)	220,000	円
---	--------	---	--	---------	---

※4 100円未満の端数は切り捨てとしてください。また、20,000円を超過している場合は20,000円として。

チェック漏れが無いようご注意ください。

計算誤りがないかご注意ください。

6 同意事項

- ☒ 項番1に記載の申請者は項番2に記載の申請児童生徒がフリースクール等に通所するための利用料を負担していることに相違ありません。
- ☒ 項番3に記載の助成対象期間において都内に住所を有していることに相違ありません。
- ☒ 今回交付申請しているフリースクール等の利用料について、項番4に記載した控除額以外に、助成金等を受けていません。
- ☒ 在籍校※5に対して、東京都が申請者及び申請児童生徒に係る申請、助成金の交付に係る情報を提供する場合があることを承諾します。
- ☒ 交付申請に係る審査及び交付決定後の助成金支給に係る審査を目的として、東京都又は東京都が審査事務を委託する者が、必要に応じて在籍校※5及びフリースクール等への照会を行うことを承諾します。
- ☒ 申請児童生徒のフリースクール等への通所状況や活動の様子等について、助成金交付要綱第13条第2項で定める期間※6ごとに、東京都フリースクール等利用者支援事業助成金フリースクール等への通所状況等報告書（第11号様式）を在籍校に提出するとともに、その内容について、在籍校がフリースクール等に確認する場合があることを承諾します。

※5 公立学校に在籍している場合は、管轄の教育委員会を含みます。

※6 以下の期間ごとに在籍校に報告書の提出をお願いします。それぞれの提出期日は別に定めます。

- ①第1四半期：4月1日から6月30日まで ②第2四半期：7月1日から9月30日まで
③第3四半期：10月1日から12月31日まで ④第4四半期：翌年1月1日から3月31日まで

(第1-1号様式)

記入例 (複数のフリースクール等に通所)

令和 7 年 〇 月 〇 日

東京都知事 殿

送付日を記入してください。

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金 交付申請書

東京都フリースクール等利用者支援事業
下記のとおり申請します。

申請者は、利用料を支払っている方（領収書の宛先となる方）となります。在籍校と日常的に連絡を取る方が申請者と異なる場合は別記様式（第1-2号様式も作成してください。）

1 申請者（申請児童生徒の保護者※申請はフリースクール等の利用料を負担している方が行ってください。）

(フリガナ)	トウキョウ タロウ		申請児童生徒	父
氏 名	東京 太郎		との続柄	
住 所 ※1	〒 163 - 8001 東京都 新宿区西新宿 2 - 8 - 1 ○○マンション101			
連絡先	電話 番号	03-5321-xxxx	メール アドレス	abcdedf@aaabbbcccc.jp

マンション・アパート名、部屋番号まで確実に記載してください。

※1 申請児童生徒と住所が異なる場合は、別記様式（第1-2号様式）に必要な事項を記載の上、提出してください。

2 申請児童生徒

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
在籍校	区 分	☒ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称	○○大学附属○○小学校		
	学 年	第 3 学 年		
(申請年度内の在籍校 変更がある場合のみ記 載してください。) 前在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称			
	学 年	第 学 年		
	在籍期間	令和 年 月	確認書（フリースクール等用）（第3号様式）の内容と合っているか必ず確認してください。	

3 通所予定である（している）フリースクール等

「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に係る確認書（フリースクール等用）（第2号様式）」項番2（申請児童生徒の利用状況について）に記載の内容と相違がないか確認してください。

施設名称	とうきょうフリースクール				
所在地	東京都新宿区西新宿 2－8－1				
月額利用料(A) (税込)	☒ 月額制※2	月	15,000	円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
交付申請期間（B）	11	か月	（令和 7 年 5 月 ～ 令和 8 年 3 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

本助成金は、複数のフリースクール等の利用料を合算して、助成の対象とすることができます。複数のフリースクール等に通所している場合に以下は記載してください。
ただし、1月当たりの申請額が2万円を超える場合には申請は不要です。

フリースクール等②					
施設名称	しんじゅくフリースクール				
所在地	東京都新宿区新宿 ●－●－●				
月額利用料(A) (税込)	☒ 月額制※2	月	10,000	円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
交付申請期間（B）	6	か月	（令和 7 年 10 月 ～ 令和 8 年 3 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

フリースクール等③					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

4 控除額（申請日時点において、本事業以外に利用料に係る助成金等を受けている場合のみ記載）

1月当たり 控除額(C)※3	10,000	円	助成金等を受けてい る団体等名	一般財団法人 ○○○○
-------------------	--------	---	--------------------	-------------

※3 額の計算は、助成対象期間と重複する期間に受ける助成金等の額を合計し、1円未満の端数が生じた場合は切り上げとして、複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

5 交付申請額※複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

1月当たり申請額 (D) ※4 (1月当たり上限額) (A:月額利用料) - (C:1月あたり控除額)		円	交付申請額 (D:1月あたり申請額) × (B:助成対象期間)		円
---	--	---	--	--	---

※4 100円未満の端数は切り捨てとしてください。また、20,000円を超過している場合は20,000円としてください。

チェック漏れが無いようご注意ください。

6 同意事項

- ☒ 項番1に記載の申請者は項番2に記載の申請児童生徒がフリースクール等に通所するための利用料を負担していることに相違ありません。
- ☒ 項番3に記載の助成対象期間において都内に住所を有していることに相違ありません。
- ☒ 今回交付申請しているフリースクール等の利用料について、項番4に記載した控除額以外に、助成金等を受けていません。
- ☒ 在籍校※5に対して、東京都が申請者及び申請児童生徒に係る申請、助成金の交付に係る情報を提供することがあることを承諾します。
- ☒ 交付申請に係る審査及び交付決定後の助成金支給に係る審査を目的として、東京都又は東京都が審査事務を委託する者が、必要に応じて在籍校※5及びフリースクール等への照会を行うことを承諾します。
- ☒ 申請児童生徒のフリースクール等への通所状況や活動の様子等について、助成金交付要綱第13条第2項で定める期間※6ごとに、東京都フリースクール等利用者支援事業助成金フリースクール等への通所状況等報告書（第11号様式）を在籍校に提出するとともに、その内容について、在籍校がフリースクール等に確認する場合がありますことを承諾します。

※5 公立学校に在籍している場合は、管轄の教育委員会を含みます。

※6 以下の期間ごとに在籍校に報告書の提出をお願いします。それぞれの提出期日は別に定めます。

- ①第1四半期：4月1日から6月30日まで ②第2四半期：7月1日から9月30日まで
③第3四半期：10月1日から12月31日まで ④第4四半期：翌年1月1日から3月31日まで

(第1-1号様式別紙計算書)

記入例（複数のフリースクール等に通所）

令和 7 年 ○ 月 ○ 日
申請者 氏名 東京 太郎

フリースクール等その1

フリースクール等名			とうきょうフリースクール												
月額利用料（A）（税込）	15,000	円	助成対象期間	11	か月（B）（令和	7	年	5	月	～	令和	7	年	3	月）
合計額（A）×（B）	165,000	円	・・・①												

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

フリースクール等その2

フリースクール等名			しんじゅくフリースクール												
月額利用料（A）（税込）	10,000	円	助成対象期間	6	か月（B）（令和	7	年	10	月	～	令和	8	年	3	月）
合計額（A）×（B）	60,000	円	・・・②												

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

フリースクール等その3

フリースクール等名												
月額利用料（A）（税込）		円	助成対象期間	か	月（B）（令和	年	月	～	令和	年	月）	
合計額（A）×（B）		円	・・・③									

※100円未満の端数は切り捨てとなります。また、20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

1月当たり上限額（月ごと）・・・④

令和 7 年 4 月		円	令和 7 年 5 月	15,000	円	令和 7 年 6 月	15,000	円
令和 7 年 7 月	15,000	円	令和 7 年 8 月	15,000	円	令和 7 年 9 月	15,000	円
令和 7 年 10 月	20,000	円	令和 7 年 11 月	20,000	円	令和 7 年 12 月	20,000	円
令和 8 年 1 月	20,000	円	令和 8 年 2 月	20,000	円	令和 8 年 3 月	20,000	円

※フリースクール等その1～その3の月額利用料の合計額を記載してください。20,000円を超過している場合は、20,000円としてください。

交付申請額（総額）	
④の合計額	195,000 円

(第1－2号様式)

記入例 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者が申請者と異なる場合)

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金
交付申請書 別記様式

該当がある事項のみ記入し、交付申請書（第1－1号様式）と共に提出してください。

項番1関連 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者が申請者と異なる場合)

児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	(フリガナ)	トウキョウ ハナコ			
	氏名	東京 花子			
	申請者との続柄等	妻	申請児童生徒との続柄等	母	
	連絡先(電話番号)※	090-0000-0000			
	連絡先(メールアドレス)	abcdefg@hccc.jp			

※原則として、申請者とは別の電話番号（携帯電話番号等）を記入してください。

項番2関連 (申請者)

事務局から連絡させていただく場合がありますので、連絡の取りやすい電話番号、メールアドレスを記載してください。

(フリガナ)				
児童生徒氏名				
児童生徒住所 (申請者と同居していない場合)	〒		-	
申請者と同居してい ない理由				
児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	☐ 有 ☐ 無 (理由)			
	※『有』にチェックを入れた場合は、下記事項を記載してください。			
	(フリガナ)			
	氏名			
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等	
	連絡先(電話番号)			
連絡先(メールアドレス)				

(第1-1号様式)

記入例

令和 7 年 ○月 ○日

送付日を記入してください。

(申請者と子供の住所が異なる場合
(学校の寮に入居))

フリースクール等利用者支援事業助成金 交付申請書

東京都フリースクール等利用者支援事業
下記のとおり申請します。

申請者は、利用料を支払っている方(領収書の宛先となる方)となります。在籍校と日常的に連絡を取る方が申請者と異なる場合は別記様式(第1-2号様式)も作成してください。)

1 申請者(申請児童生徒の保護者※申請はフリースクール等の利用料を負担している方が行ってください。)

(フリガナ)	トウキョウ タロウ		申請児童生徒	父
氏 名	東京 太郎		との続柄	
住 所 ※1	〒 163 - 8001 東京都 新宿区西新宿 2-8-1 ○○マンション101			
連絡先	電話 番号	03-5321-xxxx	メール アドレス	abcdedf@aaabbbcccc.jp

マンション・アパート名、部屋番号まで確実に記載してください。

※1 申請児童生徒と住所が異なる場合は、別記様式(第1-2号様式)に必要事項を記載の上、提出してください。

2 申請児童生徒

事務局から連絡させていただく場合がありますので、連絡の取りやすい電話番号等を記載してください。

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
在籍校	区 分	☒ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称	○○大学附属○○小学校		
	学 年	第 3 学 年		
(申請年度内の在籍校 変更がある場合のみ記載してください。) 前在籍校	区 分	☐ 国立 公立 (☐ 都立 ・ ☐ 区市町村立)		☐ 私立
	名 称			
	学 年	第 学 年		
	在籍期間	令和 年 月	確認書(フリースクール等用)(第3号様式)の内容と合っているか必ず確認してください。	

3 通所予定である（している）フリースクール等

「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に係る確認書（フリースクール等用）（第2号様式）」項番2（申請児童生徒の利用状況について）に記載の内容と相違がないか確認してください。

施設名称	とうきょうフリースクール				
所在地	東京都新宿区西新宿 2－8－1				
月額利用料(A) (税込)	☒ 月額制※2	月	33,000	円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
交付申請期間（B）	11	か月	（令和 7 年 5 月 ～ 令和 8 年 3 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

本助成金は、複数のフリースクール等の利用料を合算して、助成の対象とすることができます。複数のフリースクール等に通所している場合に以下は記載してください。
ただし、1月当たりの申請額が2万円を超える場合には申請は不要です。

フリースクール等②					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					
フリースクール等③					
施設名称					
所在地					
月額利用料(A) (税込)	☐ 月額制※2	月		円	※2 月毎に定額を支払うもの。月額制以外の場合（年払い等）や都度払いであるものは全て「月額制以外」とし、月平均額の計算根拠を記載してください。
	☐ 月額制以外	月		円	
月額利用料の計算根拠	・都度払いの場合は、利用予定メニュー・単価・月ごとの最も利用予定回数が多い月で記載してください。 ・数か月分の利用料を一括払いする場合は、支払額を月数で除して計算し、1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとしてください。				
助成対象期間（B）		か月	（令和 年 月 ～ 令和 年 月）		
※本期間外に発生した利用料の助成を申請する場合は、変更承認申請が必要となります。					

4 控除額（申請日時点において、本事業以外に利用料に係る助成金等を受けている場合のみ記載）

1月当たり 控除額(C)※3	10,000	円	助成金等を受けてい る団体等名	一般財団法人 ○○○○
-------------------	--------	---	--------------------	-------------

※3 額の計算は、助成対象期間と重複する期間に受ける助成金等の1月当たりの平均額を記載してください。
ただし、1円未満の端数が生じた場合は切り上げとしてください。

5 交付申請額※複数のフリースクール等について記載する場合は別紙計算書を作成してください。

1月当たり申請額 (D) ※4 (1月当たり上限額) (A:月額利用料) - (C:1月あたり控除額)	20,000	円	交付申請額 (D:1月あたり申請額) × (B:助成対象期間)	220,000	円
---	--------	---	--	---------	---

※4 100円未満の端数は切り捨てとしてください。また、20,000円を超過している場合は20,000円として。

チェック漏れが無いようご注意ください。

計算誤りがないかご注意ください。

6 同意事項

- ☒ 項番1に記載の申請者は項番2に記載の申請児童生徒がフリースクール等に通所するための利用料を負担していることに相違ありません。
- ☒ 項番3に記載の助成対象期間において都内に住所を有していることに相違ありません。
- ☒ 今回交付申請しているフリースクール等の利用料について、項番4に記載した控除額以外に、助成金等を受けていません。
- ☒ 在籍校※5に対して、東京都が申請者及び申請児童生徒に係る申請、助成金の交付に係る情報を提供する場合があることを承諾します。
- ☒ 交付申請に係る審査及び交付決定後の助成金支給に係る審査を目的として、東京都又は東京都が審査事務を委託する者が、必要に応じて在籍校※5及びフリースクール等への照会を行うことを承諾します。
- ☒ 申請児童生徒のフリースクール等への通所状況や活動の様子等について、助成金交付要綱第13条第2項で定める期間※6ごとに、東京都フリースクール等利用者支援事業助成金フリースクール等への通所状況等報告書（第11号様式）を在籍校に提出するとともに、その内容について、在籍校がフリースクール等に確認する場合があることを承諾します。

※5 公立学校に在籍している場合は、管轄の教育委員会を含みます。

※6 以下の期間ごとに在籍校に報告書の提出をお願いします。それぞれの提出期日は別に定めます。

- ①第1四半期：4月1日から6月30日まで ②第2四半期：7月1日から9月30日まで
③第3四半期：10月1日から12月31日まで ④第4四半期：翌年1月1日から3月31日まで

(第1 - 2号様式)

記入例 (申請者と子供の住所が異なる場合 (学校の寮に入居))

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金
交付申請書 別記様式

該当がある事項のみ記入し、交付申請書 (第1 - 1号様式) と共に提出してください。

項番1 関連 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者が申請者と異なる場合)

児童生徒と同居している保護者等 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者)	(フリガナ)				
	氏名				
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等		
	連絡先 (電話番号) ※				
	連絡先 (メールアドレス)				

※原則として、申請者とは別の電話番号 (携帯電話番号等) を記入してください。

項番2 関連 (申請者と申請児童生徒の住所が異なる場合)

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
児童生徒住所 (申請者と同居していない場合)	〒 130 - 0015 東京都墨田区横網〇-〇-〇			
申請者と同居していない理由	学校の寮に入居しているため			
児童生徒と同居している保護者等 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者)	☐ 有 ☒ 無 (理由 学校の寮に入居しているため)			
	※『有』にチェックを入れた場合は、下記事項を記載してください。			
	(フリガナ)			
	氏名			
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等	
	連絡先(電話番号)			
連絡先(メールアドレス)				

(第 1 - 2 号様式)

記入例 (申請者と子供の住所が異なる場合 (親族と同居))

東京都フリースクール等利用者支援事業助成金
交付申請書 別記様式

該当がある事項のみ記入し、交付申請書 (第 1 - 1 号様式) と共に提出してください。

項番 1 関連 (在籍校と日常的に連絡を取ることができる者が申請者と異なる場合)

児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	(フリガナ)				
	氏名				
	申請者との続柄等		申請児童生徒との続柄等		
	連絡先 (電話番号) ※				
	連絡先 (メールアドレス)				

※原則として、申請者とは別の電話番号 (携帯電話番号等) を記入してください。

項番 2 関連 (申請者と申請児童生徒の住所が異なる場合)

(フリガナ)	トウキョウ ジロウ			
児童生徒氏名	東京 次郎			
児童生徒住所 (申請者と同居していない場合)	〒 130 - 0015 東京都墨田区横網〇-〇-〇			
申請者と同居してい ない理由	申請者が病気療養中であるため			
児童生徒と同居して いる保護者等 (在籍校と日常的に連絡を 取ることができる者)	☒ 有 ☐ 無 (理由)		有の場合は、必ず記載してください。	
	※『有』にチェックを入れた場合は、下			
	(フリガナ)	シンジュク ハナコ		
	氏名	新宿 花子		
	申請者との続柄等	母	申請児童生徒との続柄等	祖母
	連絡先(電話番号)	03-5000-xxxx		
連絡先(メールアドレス)	aaabbbccc@aaabbbccc.jp			